



下呂市農業委員会だより

平成26年2月1日発行

vol.4

下呂市農業委員会

下呂市萩原町萩原 1856 TEL.0576-52-2000

<http://www.city.gero.lg.jp/>⇒[行政情報](#)⇒[市政の情報](#)

任期満了に伴う委員改選

平成25年9月末日をもつての任期(3年)満了に伴い、農業委員会委員の改選が行なわれ、25名の新委員が決まりました。

●新農業委員の紹介

*任期・平成25年10月1日～平成28年9月30日(写真下 上段=委員番号・氏名 下段 担当地区)



① 野村 一郎
下呂地域
(竹・上・中原以外)



② 熊崎 博
中原地区



③ 松嶋 光秋
上原地区



④ 小畑 和明
乗政



⑤ 河村 重樹
野尻・御殿野



⑥ 栃井 利夫
宮地



⑦ 星屋 悦雄
菅田1～5区



⑧ 日下部 道男
菅田6～10区



⑨ 河村 利明
東沓部・登呂瀬・
船野・藤後野・打尾



⑩ 金森 茂俊
金山



⑪ 高木 康則
田島・大船渡・渡・下原町・
中津原・福来・中切



⑫ 金山 文秀
中戸川・上戸川・祖師野・
岩瀬・乙原・弓掛



⑬ 嶋田 浩
宮田・大ヶ洞・
奥田洞



⑭ 金子 平和
上上呂・下上呂・
桜洞



⑮ 中川 恭子
萩原・上村・
花池・中呂



⑯ 熊崎 幸夫
羽根・野上



⑰ 熊崎 則彦
古関・跡津・西上田



⑱ 林 忠和
尾崎1・2区
山之口



⑲ 大坪 喜美子
尾崎3区・四美



⑳ 日下部 俊雄
門坂・無数原・大垣内・
町・大島・坂下



㉑ 桂木 寛明
赤沼田・落合・
湯屋・大洞



㉒ 山下 康子
長瀬



㉓ 二村 明
中切・堀之内・萩原



㉔ 小池 利成
名丸・井谷・
惣島・西村



㉕ 藤澤 善幸
川上・黒石・数河

農地利用状況調査を行いました



十月～十一月にかけて、農地の利用状況調査を行いました。現在集計分は、荒廃農地について昨年度と比べ新規発生が1・5％、解消が0・9％と差し引き0・6％の増となっています。おおむね現状維持といえますので、皆様が農地保全、活用に取り組まれている成果の表れと思います。

しかしながら、上のような再生可能な（山林化等まで至らない）荒廃農地は約130％と依然広大です。獣害・害虫の温床ともなりますので、引き続き保全、解消できるよう農地の適正な管理をお願いいたします。

こんなことはありませんか？

調査中に
あった
こんな例

あなたは大丈夫ですか？

Q 自分の農地だから自由に潰して庭にしてみよう。

A ちょっと待って！ 自己所有であっても、農地以外にするときは許可が必要です！

Q 休耕するからいつかは戻すけど、当面は資材置き場にしよう。

A 一時的でも、上記同様許可が必要です！

Q ちょうど土砂をもらえることになったから、埋め立ててかさ上げしよう。

A 自力による改良はよいことですが、農地の形質を変えるときは、届出が必要です！

農地はその保護・活用の観点から法による規制等が設けられています。何か変更を…と思われた際は農業委員会にご相談ください。

遊休農地の解消を行いました

十月二十八日に、萩原町羽根地区において、農業委員10名と下呂農林事務所・JA・市の関係者31名で協力し、遊休農地の解消活動を行いました。26㍓の農地が再生され、今春より新規就農者の方によってトマト栽培が行われる予定です。今後も引き続き、遊休農地の解消とその後の利用まで一体として行えるよう取り組みます。



石は土のう袋で150袋にもなりました



作業前は一面雑草が繁茂していました



作業を終え、農地として再生しました



端から順に草刈りと集積・運搬、石拾いをしていきます

まめなかな！農家訪問

地域の農地を守りたい 担い手として守りたい

馬瀬惣島

小池 利成さん（五十四歳）

平成二十一年・二十二にかけて、約83^{ha}の遊休農地を解消された小池さん。自宅から約20km離れたその農地での作業中にかがいました。

：自宅から遠い農地ですが当時のお気持ちは：

農地は個人の所有財産ですが、そこで生産を行ってこそ地域そして日本に「安心・安全な食料」という大事な共有財産を生み出すものと思

ます。そこで、農地を再生し輸入飼料に依存しない経営に生かそうと考え、今に至ります。

：今後農地を守っていくには：

農地の集約は欠かせないと思います。担い手相互、また地域全体で効率よく管理していければ。所有者の方からすれば、長期貸付に抵抗感があることも分かりますので：簡単ではないと思います。それでも、馬瀬の担い手として地域を守るため、集約の具合にかかわらず引き受けた農地はしっかり管理していきたいと思っています。



▲収穫した飼料作物をラッピングしておき、飼育する乳牛に与えます。



▲作業は一人で全部行うとのこと。手際よく積み込みをされています。

地域農業を守る担い手として一層のご活躍を期待しています。

（二村明委員取材）

楽農楽食

（エゴマ）
アブラエ調理の巻

前号で栽培についてご紹介しましたアブラエ（エゴマ）。今回は今年度収穫分を使って五平餅を作ってみました。



甘く香ばしく出来上がり、おいしくいただくことができました



下焼きができた所でエゴマだれをたっぷりつけて…



ごはん粒の形がわからなくなるぐらい握ります



焦げやすいので油断なく焼き加減の調整を



串はタネの頭から出るぐらいまで！ 浅いと落ちてきちゃう…



一本完成！次々とこのあと焼き上がりました



タネのみで下焼きをします

今年は日照りで、比較的例年より収量を上げるのが難しかったそうです。

今回新・旧の女性農業委員で作っていましたが、「五平づくりが現金を使わない秋の祭りのようなものかな」との話もありました。栽培して、調理して、そして食べて楽しむ。またそんなご紹介をしていきたいと思います。



農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか？
少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。

①年間60日以上 of 農業従事

②国民年金第1号被保険者

③60歳未満

以上を満たせばどなたでも加入できます。
 農地権利等の条件はありません！

個別で説明にお伺いします

制度とその内容を「知らなかった」ために加入できなかったということが無いよう、農業委員会ではいつでも個別にお伺いしご説明やご質問にお答えいたします。ほんの少しの空き時間を利用していただければ結構ですので、遠慮なくお申込みください。



12/2・3日には集中訪問として8軒に伺いお話をさせていただきました

あしたの自分に「上乗せ」始めませんか？

農業委員会 主な活動の報告 (平成25年9月～平成26年1月)

平成25年

9月 5日 平成25年度農業委員研修(岐阜市 6名)

24日 第9回総会

10月 1日 委員会互選会・農地利用状況調査推進会議

9日 農業委員現地研修会(中津川 13名)

24日 第10回総会

28日 遊休農地解消作業(羽根地内 10名)

30・31日 全国農業担い手サミット(石川県 10名)

11月 15日 第11回総会

18日 視察受け入れ(宮崎県小林市農業委員会)

12月2・3日 農業者年金戸別訪問説明

5日 全国農業委員会会長代表者集会(東京都 会長1名)

25日 第12回総会

平成26年

1月 24日 平成26年第1回総会



10月9日 研修会
 中津川市の事例を学ぶ



10月31日 サミット
 花木の相対販売特化の様子を研修

<編集後記>

近年有害鳥獣の被害がとても深刻です。手をこまねいてはやられる一方です。実際捕獲頭数でもニホンジカなど昨年度は5年前と比べて4倍程となっているそうです。

この正月にも箱罠にニホンジカが入っていると連絡があり現場に駆けつけました。農地の番人には休みなし、殺生もしたくないものですが、農業委員の使命と思い処理をしました。

今年も農地パトロール、有害鳥獣の捕獲を頑張るぞ！(T・H)

●編集委員

・高木 康則 ・林 忠和 ・日下部俊雄
 ・二村 明 ・松嶋 光秋



農家の経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。
 農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です！

農業者の視点でお届けします

週刊《金曜日発行》月600円 年7,200円
 (年間購読割引あり) お申込みは農業委員会まで